

令和2年度 コミュニティ協議会懇話会 実施報告書

令和3年2月10日
菊川市市民協働センター

I. 目的

先進事例や情報交換会等を通じて、各地区コミュニティ協議会役員等が自らの地域（地区）の現状を客観的に把握するとともに、他地区や市民活動団体との協働のきっかけづくりとする。

II. 実施概要

開催日時	令和3年1月29日（金）13:30～15:00
会場	菊川市役所庁舎東館プラザきくる3階 E301、302 会議室
対象	市内11地区コミュニティ協議会から役員等各2名
受講者数	22名
テーマ	コロナ禍におけるコミ協活動と情報交換会
主催	菊川市市民協働センター

III. 懇話会内容

1) 自己紹介

A4用紙を四つ折りし、①地区 ②役職・氏名 ③今の気持ちを記入。

その後、全員が発表。

【参加者たちの「今の気持ち」】

- ✓どんな内容か？
- ✓やはり予定通りやるのね。
- ✓知らない人の集まりのため不安。
- ✓他の地区に興味あり。
- ✓楽しい会議になること！
- ✓発表前でドキドキ。
- ✓令和2年度は行事ができなくて残念。
- ✓今年の計画の反省会と思い参加。
- ✓何をやるのかな。
- ✓ワクワク、不安。
- ✓ドキドキ。
- ✓女性の方が少ない。
- ✓他地区の活動内容を聞いてみたい。
- ✓今後のコミ協活動について話が聞ける。
- ✓コロナ禍で果たして活動ができるか？
- ✓きれいな会場でいいね。

2) コロナ禍におけるコミ協活動の発表

発表の間、他の参加者は ①共感 ②一緒にできそうなこと ③全般の感想 ④質問等を付箋に書き出す。発表の終了後、主な意見や感想を全体で共有し、質問については各コミ協から回答する。

a. みねだ地域づくり協議会

<活動内容>

- ・お元気会（高齢者サロン）
- ・小笠山自然教室
- ・フォト&川柳作品展

<変更点や注意したこと、感想>

- ・自治会との連携、どのような活動が実施できるか協議しながら取り組んだ。
- ・役職者の任期変更と役割の明確化を行った。

<参加者からの感想や質問等>

- ・コロナ禍で8事業に取り組んだことはすごい。

b. 横地コミュニティ協議会

<活動内容>

- ・横地地区センターまつり

<変更点や注意したこと、感想>

- ・来場者の検温と手指消毒、氏名・連絡先の記入（来場者リスト）
- ・若い高校生のパワーは地域住民に希望を与えた。

<参加者からの感想や質問等>

- ・高校生の協力はどのように得ているのか。
⇒ 20年前くらいから協力してもらっているような気がする。
小笠高校に毎年訪問してお願いし承諾を得ている。

c. ひらかわコミュニティ協議会

<活動内容>

- ・ボン菓子作り
- ・竹灯籠作り
- ・こども昆虫展
- ・ジャガイモの植え付け

<変更点や注意したこと、感想>

- ・こども昆虫展には市内外から多くの人が集まった。会場内は人数や時間に制限を設けてソーシャルディスタンスを保てたが、場外では人が密になってしまった。

- ・子どもたちが事前にカブトムシを持ってきてくれるようになり、だいぶ定着したかなという思いがある。

<参加者からの感想や質問等>

- ・コロナ禍で子ども向けのイベントを行い、かつ市外の方にもたくさん来ていただけてすごいと思う。

d. みなみやまコミュニティ協議会

<活動内容>

- ・みなみやま会館まつり

<変更点や注意したこと、感想>

- ・展示物の見せ方を工夫した。建物の中に入らなくても見られるように外に向けて展示し、ルートも一方向にしか進めないよう感染対策に配慮した。

<参加者からの感想や質問等>

- ・こども園の子どもたちが参加できたことは良かった。
- ・コロナ禍でも開催した心意気がいい。

3) 情報交換

発表を聞いて思った感想や意見を共有し、出席者に気づきを持ち帰ってもらう。

最後に A4 用紙に④本日の気づきを記入してもらう。

【参加者たちの「本日の気持ち」】

- ✓各地区の工夫が聞けて良かった。次年度に活かしていきたい。
- ✓コロナ感染対策の中でも行える事業を知ることができた。
- ✓コロナ禍の中、皆同じような立場で苦労されていることがよく分かった。
- ✓皆さんの意見を参考にして、もっと地区コミュニティ活動を良くしていきたい。
- ✓来年度はどうなるか。コロナによるができることもある。
- ✓どうしても密になりがちだが、一人ひとりの注意が大切だと思う。
- ✓地区によって役員選出が皆違う。
- ✓役員選出の最適な方法がわからない（難しい）。
- ✓役員についてはその地区、会員で定めること。時代に合った規程をつくることは大変良いと思う。
- ✓時間が足りない。各地区の活動状況等が聞けたら。

4) 全体総括（地域支援 森下路広課長）

今回、各コミュニティ協議会の活動事例や課題を共有できて、とても有意義な懇話会だったと思う。私自身も皆さんの話を聞かせていただき大変勉強になった。コロナに関してはまだ先を見通せない状況が続いており、来年度も不安の中での活動になるが、

困ったことがあれば地域支援課や市民協働センターに相談してほしい。しっかり支援させていきたい。

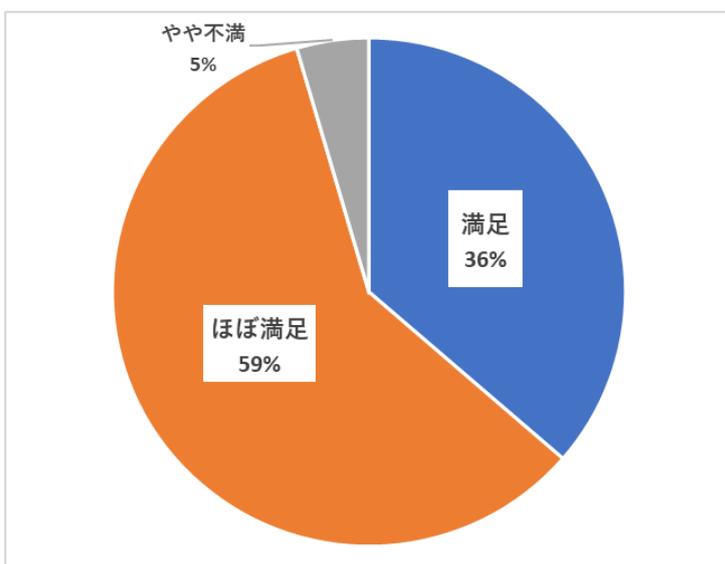
[懇話会の風景]



IV. 参加者アンケート結果

※回答者数 22 名（回答率 100.0%）

1) 本日の懇話会の感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	満足	8
2	ほぼ満足	13
3	やや不満	1
4	不満	0
	合計	22

● 「満足」と回答した理由。

- ・活動報告の中にリスクの覚悟が感じられた。担い手側のリスクに対するストレスに対しての報告もほしかった。無事に活動できた、だけでは心配も残る。
- ・コロナ禍で苦勞した活動を知ることができて良かった。

- ・各地区の工夫が聞けて良かった。
- ・コロナの中での意見が思ったより多かった。
- ・「共感」「感想」が聞けたこと。
- ・いろいろ参考になった。
- ・コロナ禍の中で頑張って活動していましたね。
- ・懇話会の進行手法が工夫されていて素晴らしい。

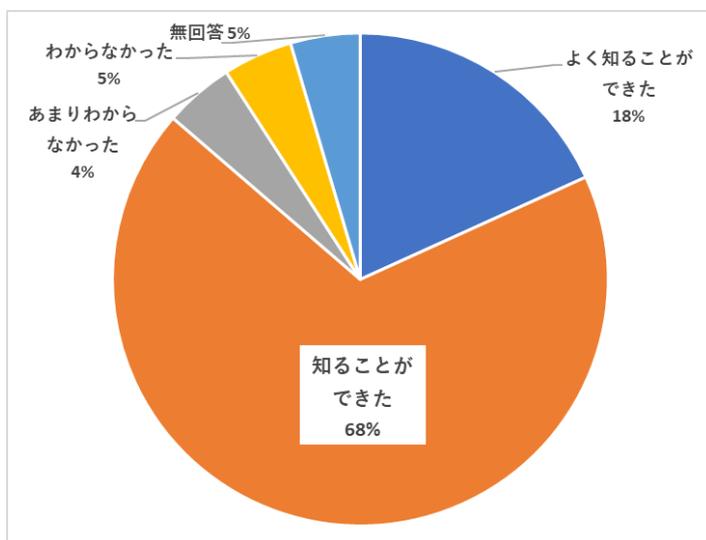
● 「ほぼ満足」と回答した理由

- ・コロナ禍で4地区の発表会を聞き、ある地区では思ったよりも多くの方が来場して対応に困ったこともあったようで、参考になった。
- ・各地区の活動、特にコロナ禍の工夫がわかった。
- ・他地区の行事を開催するための工夫が聞けたこと。
- ・他地区の様子が少し理解できた。
- ・他の地区の活動の様子が聞けて良かった。
- ・具体的な内容の事例発表であった。
- ・皆さんの意見が役に立った。
- ・他地区の事例発表が確認できたが、任期が終わるため次年度への反映ができない。
⇒ コミ協の任期をすべて2年にして反映可とする。
- ・他地区全体の話を聞きたかった。
- ・コロナ禍でのイベントの難しさ。
- ・規約改定はやはり必要。
- ・短時間にして内容をしぼったこと（発表も冗長でなかった）。
- ・発表中に感想や質問等を記入していくやり方は少し慌ただしいが、出された意見等を進行がまとめながら進めてくれると、発言するよりも気が楽になるのではないか。他の場面等にも利用するといいかもしれない。

● 「やや不満」と回答した理由

- ・事務長会議で聞いている内容（現実）とは異なっていた。

2) 本日の懇話会を通して、他地区の活動状況を知ることができましたか。



No.	感想	人数
1	よく知ることができた	4
2	知ることができた	15
3	あまりわからなかった	1
4	わからなかった	1
5	無回答	1
	合計	22

● 「知ることができた」と回答した理由

- ・各地区とも通常開催から規模を縮小しても、中身はなかなか濃いと感じた。その分苦労は多かったと思う。
- ・中止の多いコミュニティ協議会があったが、工夫してイベント活動をやっていることに感心した。
- ・3密を回避した活動を知ることができた。
- ・それぞれコロナ禍で工夫していることがわかった。（地域の人たち、子どもたちに何か届けたい思いは一緒だと思う）
- ・他地区の事例発表を確認できて参考になった。
- ・事例発表の中での工夫、苦労、成果等。
- ・具体的な活動計画が聞けた。
- ・発表してくれたコミ協の活動はよくわかった。
- ・活動状況ではないが、コミ協の規約・組織に関心を持った。
- ・時代に沿った条例に変えることは必要かも。
- ・各地区のコミ協の発足・組織の在り方は違うと思うが、規約の見直しをした勇気に感動した。
- ・地域の理解が必要であると思う。
- ・ほとんど同じような活動をしていると思われる。
- ・早足での発表だったので、コメントのすべては書ききれなかった。

● 「あまりわからなかった」と回答した理由

- ・発表地区に限定。

● 「わからなかった」と回答した理由

- ・各地区の活動状況の話がなかった。

3) 特に印象に残ったこと、今後の地区コミュニティ活動に活かしたいと思ったことをご記入ください。

- ・みねだの担い手不足に対する工夫。
- ・こども昆虫展の開催。他のものに変えても工夫をすればできそう。
- ・「こども昆虫展」のような新しい活動が必要であると思う。
- ・子どもたちが参加しやすいコミュニティイベント活動をしていることが印象に残った。
- ・子ども向けの活動を参考にしたい。
- ・講演会にリモートを利用する。（今年度2月の福祉講演会は中止となった）
- ・リモートを利用した活動もありと感じた。機械は市で貸与してもらえるのか。
- ・コロナでも工夫してイベントを開催した4地区の皆さんの強い意志。
- ・発表事例が参考になった。地区内会員の方にも紹介してみたいと考えた。
- ・密の防止の仕方を考えさせられる。感染者が菊川市は今までは少なかった。危険が混沌としている。
- ・イベントをチャンスに会員を増員することが必要。
- ・自治会との連携についてももう少し考えたいと思う。会館まつりと梅まつりでは協力いただいている。
- ・活動規模を縮小しても続ける方向性を見つけたいと思う。
- ・積極的に活動している地区がある。
- ・コミ協の役割分担について考えさせられることがあった。早速会長に伝えたいと思う。
- ・規約の改正と役割分担の検討。
- ・役員選出の件。この件はコロナだからではなく、これからの問題。私たちも会長1人、副会長3人にしてみたいと思う。
- ・河城地区ではコロナ感染を心配するあまり、会合は重ねたが結果的に中止になってしまった。（クラスターの心配等）

4) 今後のコミュニティ協議会懇話会で取り上げてほしいテーマがあればご記入ください。

- ・コロナ禍における活動をどこを基準（目安）にして行うか。
- ・高齢化など社会の情勢を踏まえた上での担い手確保。
- ・高齢化など社会の情勢を踏まえた上での活動のあり方。
- ・女性会員を増やすにはどうすればよいか。
- ・若い人を参加させるには。

- ・事務長のなり手が今後心配。
- ・コミ協組織が上手に機能しているのか。もし問題点があるとすればどの点か。
- ・行事やイベント開催と役員負担の軽減方法など。（定年延長、働く希望者の増…）
- ・センターの事務局（長）の仕事の負担は。
- ・コミ協活動とコミ協事務局（仮称）の設置・担当者は。
- ・1%交付金の計画、報告、会計は誰が取りまとめているのか、事務局（長）に負担を掛けすぎていないか、コミ協の立場で聞かせてほしい。
- ・他地区の成功事例（成果と反省）。
- ・他地区の活動状況、活動方法とか教えてもらえれば。
- ・各地区の活動状況の把握。
- ・事例発表形式を継続して頂ければ。
- ・今日のやり方でこれからもできればいいと思う。
- ・期始に懇話会を開催できたら良いと思う。
- ・現在7つのテーマを取り上げて活動しているので、これ以上増やしたくない。

以上